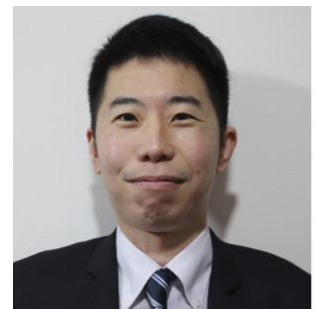


- 氏名 : 寺岡 駿輔  
 ○会員番号 : FE-0425  
 ○専門分野 : 土木工学  
 ○保有資格 : FE Civil  
                   技術士一次試験 (建設部門)  
                   第一級陸上特殊無線技士 など



FE 試験受験 : 2021/06

## 1. 受験動機

以下のようなことを考えて、FE 試験を受験しました。

- ・英語で専門分野を勉強したい
- ・専門分野を体系的に学び直し、技術力を向上させたい
- ・海外業務に携わるために、絶対に PE を取得したい

## 2. 勉強方法

私の専門分野は土木工学であるため、FE Civil を受験しました。

FE 試験の勉強ために購入した書籍は以下の通りです。

### 【学習図書リスト】

図書番号	図書名	購入先	購入金額
①	FE Reference Handbook	NCEES	0円
②	FE Civil Practice Exam	NCEES	約15,000円 ※送料込み
③	FE Civil Practice Problems: For the Civil Fundamentals of Engineering Exam by Michael R. Lindeburg	Amazon	約17,000円
④	絵とき 土木力学 改訂3版	Amazon	約2,800円
⑤	絵とき 鋼構造の設計 改訂3版	Amazon	約3,000円
⑥	絵とき 鉄筋コンクリートの設計 改訂3版	Amazon	約2,800円
		合計	約40,600円

まずは NCEES で「①FE Reference Handbook」を無料でダウンロードし、併せて、NCEES の公式問題集である「②FE Civil Practice Exam」を購入しました。次に一般的なネットの記事で、「③FE Civil Practice Problems: For the Civil Fundamentals of Engineering Exam by Michael R. Lindeburg」が薦められているのを見て、購入しました。

(Amazon で購入できる FE の問題集は多くあり、図書③が最も良いかは今でもよくわかりません。)

図書③は各分野の詳細な解説が記載されており、分野ごとの問題も付いていたため、最初に図書③で勉強を始めましたが、ページ数が多いうえに全て英語で書いてあるため、どれだけ時間があっても足りないと思い始めました。そのため、まずは**図書②で問題演習をして、FE 試験の傾向を掴むことを優先させました**。図書②を2周したところで Reference Handbook の使い方や関数電卓の使い方にも慣れてきて、苦手な分野についても特定することができました。私の場合、土木分野の中でも“Geotechnical”と“Structural”に苦手意識があったため、土質力学と構造設計に関する日本語の図書④～⑥を購入し、学生に戻った気分で勉強なおしました。図書④～⑥は FE Civil の勉強に非常に適していると個人的には思いました。

また、FE 試験は土木以外の分野からも幅広く出題されることになっています。例えば、“Engineering Economics”や“Environmental Engineering”の問題については、最初は意味が分からずといった状況でしたが、問題演習を重ねることで、意外と簡単な問題であることに気づきました。

さらに、アメリカの単位を理解することがかなり重要であり(in, ft, lbf など)、勉強の最初は単位の意味や単位の変換を苦労しましたが、**Reference Handbook の冒頭付近に記載されている単位変換を参照し**、問題演習を行っているうちに徐々に慣れてきました。

FE 試験の勉強時間は以下の通りです。

私の場合、平日にまとめた勉強時間を確保することができず、休日に集中して勉強することとしました。

下記の勉強を約4か月続けて、トータルの勉強時間は250～300時間くらいです。

#### 【勉強時間】

・平日の勉強時間：1日1時間弱（週3日程度）

※業務の都合で、帰宅する時間が遅く、平日は勉強できない日も多くありました。

・休日（土日祝）の勉強時間：1日6時間

※休日は図書館に行って、時間をかけて勉強しました。

### 3. FE 試験を終えて

試験の約1週間後、合格を確認し、安堵しました。FE 試験に合格した今考えてみると、試験範囲が広いこと、英語での慣れない試験であったことから、かなりタフな戦いだったと思います。休日にいつも図書館に行っても、文句を言わなかった妻には感謝しています。

現在、PE 試験に向けて勉強中です。FE 試験の出題範囲は、PE 試験とも被っている部分が多いと感じています。今後は、PE 試験に合格することはもちろんですが、JSPE の活動を通じて、視野を広げていきたいと考えています。

以上